

ある1日のスケジュール(平日)



留守家庭児童育成室と一緒に働きませんか

■受験資格

指導員

- 保育士、教員、放課後児童支援員の資格を持つ人
- 高卒などで、児童福祉事業に2年以上従事した人 など

補助員

資格不要。補助員として一定期間働けば、指導員になることもできます。

■勤務日

- 指導員 週5日
- 補助員 週2～5日

申し込みなど詳しくは市ホームページへ



指導員募集のページ



補助員募集のページ

教育理念

今 吹田から未来の力を
いのち 生命かがやき ともにつながり
あす 未来を拓く吹田の教育

第76号 教育だより

令和5年(2023年)7月1日 発行 吹田市教育委員会 朝日町3 電話6155・8063 6155・8077

子供たちの放課後を支える

留守家庭児童育成室 指導員・補助員



市では、子供たちが健やかに育ち、保護者が安心して子育てできるまちづくりを進めています。

保育に携わるさまざまな職種の中から、今回は子供たちの放課後を支える留守家庭児童育成室の指導員・補助員の仕事内容を紹介します。

放課後子ども育成室(電話6384・1599 6380・6771)



留守家庭児童育成室ってどんなところ？

保護者が就労などで昼間家庭にいない児童が、放課後に安心して過ごすことのできる場として、市内36の全小学校区で開設しています。小学1～4年生が対象で、保育ニーズの高まりにより入室希望児童数は年々増加しており、現在は約5000人が利用しています。

放課後児童支援員という専門の資格を持つ指導員とサポート役の補助員が、生活や遊びの場を提供し、児童の健全な育成を図ることで、保護者が安心して子育てと仕事の両立ができるように努めています。

※留守家庭児童育成室は、小学校との連携を図るため、教育委員会が事務を担っています。



指導員・補助員の役割や大切にしていることは？

集団での遊びや生活を支援

異年齢での集団生活や遊びを通して、ルールや片付けなどの基本的な生活習慣や各自の役割を学べるように支援します。

一人ひとりの成長を支援

発達段階に合わせた保育を通して、子供たちが葛藤を乗り越えたり、お互いに折り合いをつけながら生活したりできるように支援します。

保護者や学校などとの連携

育成室での子供たちは、学校や家庭では見せない姿を見せることもあります。気になることがあれば、保護者や学校、関係機関とも情報共有・連携を行います。

子供たちの「やりたい!」に合わせ、遊びや行事を考え、「明日もやりたい!」につなげるように取り組んでいます。

「困っている友達に声をかけるようになった」「遊びで負けて泣いていた子が泣かなくなった」など、小さな成長も見逃しません。

ふだんから信頼関係を築くことで、登室時のちょっとした表情の違いに気付くことができます。